

令和 2 年 10 月 7 日

福島漢字探検隊 2020 in 福島市
福島大学・立命館大学「漢字で元気に」プロジェクト第 10 弾
福島駅東口『こむこむ：にぎわい広場』で開催！

東日本大震災後の 2011 年秋より、本学と、福島県と連携協力協定を締結している立命館大学とで「漢字で元気に」プロジェクトを始動させました。

その第 10 弾 [通算 14 回目] として、10 月 31 日（土）、福島県民・小中学生対象の体験型漢字学習講座「福島漢字探検隊－漢字クイズ大会 2020」を福島市子どもの夢を育む施設『こむこむ』にて開催いたします。

ぜひ、イベントの告知と当日のご取材方よろしくお願いいたします。

本学は、立命館大学、白川静記念東洋文字文化研究所に協力し、震災の年 2011 年より福島大学生とともに「漢字で元気に」プロジェクトを福島県各地で実施しています。今年は継続的活動の 10 年目となり、県内の各新聞社・テレビ局・ラジオ局・教育委員会等の後援を受けつつ、10 月 31 日（土）、福島駅東口、子どもの夢を育む施設『こむこむ』1 階「にぎわい広場」で開催します。

「漢字で元気に」プロジェクトは、年齢・性別に関わらず共通の話題にできる漢字や日本語を、家族をはじめとするコミュニティの交流ツールや基礎学力の向上源となるように、そしてそこから生まれてくる『言葉の力・対話の力』を震災復興に向けられるように、さまざまな話題や知識を本学学生とともに主に小中学生や一般市民を対象に提供する活動を行うものです。

本学人間発達文化学類教授で漢字・漢文学の講座を担当する澁澤 尚が、世界的な文字学者である故・白川 静博士（文化勲章受章者）に師事していた縁で福島県開催が実現しました。これまで福島市・郡山市・会津若松市・喜多方市・いわき市などで開催してきました。今年は久々の福島市開催となります。

今回の第 10 弾は、漢字をテーマにしたイベント「福島漢字探検隊－漢字クイズ大会 2020」を 10 月 31 日（土）に開催し、小中学生を中心に市民・県民を無料招待いたします。澁澤による「古代の文字で名前を書いてもらおう！」のコーナー（14:00～17:00）も併設します。

※別紙チラシ参照

開催要項

福島漢字探検隊—漢字クイズ大会2020

- 日 時 10月31日(土) 12:00~17:00
○会 場 福島市子どもの夢を育む施設『こむこむ』1階「にぎわい広場」
【無料・本年度はクイズ大会のみ事前申込必要】

- 内 容
- ・漢字クイズ大会(予約制)・画数ビンゴ大会
 - ・「白川静の生涯と古代文字史料」展示
 - ・古代文字で名前を書いてもらおう!(14:00~)
 - ・金子都美絵「漢字の風景」展 他



- 対 象 小中学生、親子、年配者までどなたでもご参加いただけます
○参 加 無 料 ※マスク着用・「漢字クイズ大会」参加は事前申込必要
○主 催 学校法人立命館大学 白川静記念東洋文字文化研究所
○協 力 国立大学法人福島大学
○後 援 福島民報社、福島民友新聞社、NHK福島放送局、
福島放送、福島テレビ、福島中央テレビ、テレビユー福島、
ラジオ福島、ふくしまFM、
福島県教育委員会、郡山市教育委員会

○問い合わせ先

学校法人 立命館 社会連携課 久保

TEL:075-813-8209/e-mail: toyomoji@st.ritsumeit.ac.jp

福島大学 人間発達文化学類 澁澤尚(しぶさわ ひさし) 研究室

TEL・Fax:024-548-8131/e-mail: shibusawa@educ.fukushima-u.ac.jp

※白川静博士について

白川静博士(しらかわ しずか 1910-2006)は、世界的な東洋学者で、漢字研究の第一人者。古代人の生活や信仰にまで踏み込んで文字を分析。漢字の成り立ちについて、最古の字書『説文解字』以来の二千年にわたる解釈を覆す理論を打ち立てました。

白川博士は、最古の文字資料である殷・周の甲骨文や金文に対して体系的な研究を行い、古代文化について独創的な研究を築き上げました。その学説は世に「白川学」と称され、内外の学界か



ら高い評価を得ています。NHKで特集番組が組まれ、また俳優・武田鉄矢がその字説をテレビ番組で紹介するなどして、一般にも広く知られるようになりました。

また、その独自の学説は、60余年におよぶ漢字研究の成果として辞書3部作（『字統』『字訓』『字通』）に結実し、漢字文化の豊かな世界を広く世人に理解せしめ、今後の文字表現のあるべき道を示唆、朝日賞、毎日出版文化賞、菊池寛賞、井上靖賞など多数受賞しました。さらに、漢字文化圏全体に亘る壮大な研究により1998年に文化功労者として顕彰され、2004年には文化勲章が授与されました。

開催の様子



古代文字で名前を書いてもらおう！



（お問い合わせ先）

人間発達文化学類教授 澁澤 尚

電 話：024-548-8131

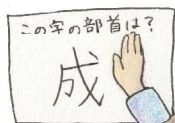
メール：shibusawa@educ.fukushima-u.ac.jp



漢字クイズ大会

(福島県開催第14回・全国通算第213回)

クイズ大会
・ビンゴ大会
に参加して
漢字グッズを
もらおう!



新元号を手に、
あの写真を
とってみよう!



来場者の名前を
古代文字短冊で
プレゼント!



(くわしくは裏面に)

◇日時 10月31日(土) 12~17時
◇会場 福島市子どもの夢を育む施設 こむこむ
1階「にぎわい広場」

◇参加料 無料

クイズ大会: 事前申込要

その他の企画: 事前申込不要

※当日会場へ直接お越しください。

※フースごとの入場制限を
行う場合があります。

◇対象 どなたでもご来場いただけます。

◇おもなイベント ★ちらしの裏面にも楽しい企画がいっぱい!★



漢字クイズ大会

漢字についてのクイズに挑戦しよう。

事前申込制(右の QR コードから)

- ・小学生1~3年生の部 ①12:00~ ③14:00~
- ・小学生4~6年生の部 ②13:00~ ⑤16:00~
- ・中学生以上の部 ④15:00~

※ 定員は各回20人、先着順です。定員を超えたときはキャンセル待ちとなります。

※ 何回申し込んでもかまいませんが、定員を超えたときはこちらから参加する回を指定いたします。
自分の上の学年の回にも参加できます。



- ◆主催 学校法人立命館 立命館大学白川静記念 **東洋文字文化研究所**
- ◆協力 福島市子どもの夢を育む施設 こむこむ館 (公益財団法人福島市振興公社)、国立大学法人福島大学
- ◆後援 福島県教育委員会、福島市教育委員会、福島民報社、福島民友新聞社、NHK福島放送局、福島放送、福島テレビ、福島中央テレビ、テレビユー福島、ラジオ福島、ふくしまFM、立命館アカデミックセンター
- ◆お問い合わせ 学校法人立命館 衣笠キャンパス地域連携課

Tel: 075-466-3776 FAX: 075-465-8197 e-mail: toyomoji@st.ritsumei.ac.jp

この催しは、子どもゆめ基金(独立行政法人国立青少年教育振興機構)の助成活動によるものです。

「漢字探検隊」は、立命館大学の登録商標です。

画数 ビンゴ 大会

漢字の本やグッズなどが当たるビンゴ大会。漢字の画数が幸運の数字。
(定員40人)

16:30~17:00

古代文字 で名前を 書いて もらおう

名前を古代文字で書いてもらおう。

14:00~17:00
(途中休憩があります。)

講師 蒔澤 尚先生
(福島大学)



白川静の 世界 三二展示

生誕110年
白川先生の一生を写真と著作でたどります。
白川先生の等身大パネルも登場!!

12:00~17:00

金子都美絵 「漢字の 風景」展

美しい絵で漢字の成り立ちの世界をえがく金子都美絵さんの作品展。

12:00~
17:00



(イメージ)

漢字の ご先祖様 に会おう

亀のこうらや牛の骨に彫られた甲骨文、青銅器にこまれた金文、木や竹の札に書かれた隸書など、昔の漢字を見てみよう。(展示品はレプリカです)



漢字 クイズ 大会

漢字のパズルやゲームで楽しく遊ぼう。
(各ブース5人程度)

12:00~17:00



(写真は全てイメージです。
当日、会場は密にならないよう配慮いたします。)

しらかわしずか
白川 静って
だれ?



漢字の成り立ちを調べると、大昔の人の暮らし方や考え方がわかります。これまでは、2000年前の字書に書かれていた成り立ちを、後の人もずっとそうだと考えていました。しかし、「そうではない」と自分の考えを表したのが白川静先生です。およそ60年前のことです。白川先生は、大昔の人が亀の甲羅や獣の骨に刻んだ字を研究して、漢字の成り立ちについての新しい考えを発表しました。



大人の方へ

白川静博士(1910-2006)は、東洋研究の第一人者。中国古代人の生活や信仰にまで踏み込んで古代文字を分析。漢字の成り立ちについて、2000年来の解釈を覆す理論を打ち立てました。立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所は、白川博士の研究成果を元に、東洋文字文化について広く社会一般を対象とした教育と普及を行い、また学術研究の分野において東洋文字文化研究の振興と高度化を図ることを目的に活動を行っています。